

INTERVIEW 先輩の声

～佐世保共済病院で働く先輩職員の声をお届けします～

佐世保共済病院に入職した新人のおふたりにインタビューしました！



小宗 凌子

入職年月：平成29年4月

所属部署：医事課

●まず、佐世保共済病院を就職先に選んだきっかけを教えてください。

私は佐世保共済病院で生まれ、3歳で小児喘息を患ってから中学生までの間、この病院を受診していました。就職するにあたり、人々の役に立てる現場で働きたいという思いがあり、そんな身近な存在だった佐世保共済病院を選びました。

●そんなに長く、佐世保共済病院とご縁があられたのですね。小さい頃と比較して、何か変わりましたか？

建物がきれいになったなあ、とビックリしました。受診していた頃は、注射もあるし、嫌だなあという気持ちもありましたが、スタッフの方々が優しかったのを覚えています。そこは、今も変わらず、親切な方が多いと感じます。

●仕事は難しいですか？

難しいです。しかし、基本的なところから先輩方が丁寧に教えてくださるので、日々学び続けることのできる環境だと思っています。仕事はきつい時もありますが、楽しくもあり、毎月の保険請求業務では、終わった時にとても達成感を感じられます。ここで働くことにしてよかったな、という思いのほうが強いです。

●充実した毎日なのでしょうね、笑顔が素敵でした！最後にみなさんへメッセージをお願いします。

佐世保共済病院はMRやイオン佐世保店と連絡通路でつながっており、通勤も便利で、歩いてすぐに四ヶ町アーケードもあるので、昼休みには先輩とランチに行ったり、仕事帰りに友だちと会ったり、プライベートも楽しめる環境にあります。とてもやりがいのある仕事で、患者さんから「ありがとう」「お世話になりました」と感謝の言葉をいただけることもあり、人と人との関わりを大切にすればするほど、自分にも返ってくるのが分かるので、それを励みに、これからも精一杯頑張ります。

次は、他業種から佐世保共済病院に転職された先輩の声をお届けします。

●佐世保共済病院で働いてみて、どうですか？

「病院」には、いろんな法律や独特のルールがあるんだな、と日々感じています。また、600人以上の人が働く中で、顔も知らない人に物事を伝えないといけない難しさも感じています。一般企業の事務業務に加えて、医療機関ならではの業務もあり、多くを学んでいかないといけません。上司や先輩が丁寧に教えてくださるので、自身のスキルアップにつながっていると思います。

●医療という業種は他の業種とは違った部分もありますね。実際にその業務をして、どう思われていますか？

分からないことだらけで、戸惑ったり悩んだりすることが多いです。でも、その分、知識や経験を積むことが出来るので、とても充実感を得ています。

●仕事では、どんなことを心がけていますか？

人との関わりの中でどのように仕事を進めていくか、ということ意識しています。職員数も多く、医師、薬剤師、技師、看護師、調理師、事務など、いろんな職種の方たちが協力して病院は成り立っていて、業務中での行動がいろいろな部署の業務に関係してくる可能性があるため、上司や他部署の方と相談しながら、慎重に業務を進めるように心がけています。

●頑張っていらっしゃるようですね！

インタビューにお答えいただき、ありがとうございました。

最後にみなさんへメッセージをお願いします

佐世保共済病院は、アットホームな職場で、知り合いや友達ができやすいのではないかと思います。院内行事や部活動を通して、職種関係なく、いろいろな方と接する機会もあり、そこで仲良くなった人と女子会やクリスマス会をしたりして楽しんでいますよ。



野田 友理恵

入職年月：平成28年12月

所属部署：総務課